東日本鉄道東京広告会

東広会ニュース

1月号
2024年（令和6年）
Vol.211

発行所　東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル10F
東日本鉄道東京広告会
電　話　03（5447）7928
E-MAIL　info@tokokai.jp

東日本鉄道東京広告会「新年賀詞交歓会」開催

東日本鉄道東京広告会主催の令和六年「新年賀詞交歓会」が1月11日㈭18時30分よりホテルメトロポリタンエドモントにおいて開催された。

今回の「新年賀詞交歓会」は、東日本旅客鉄道株式会社代表取締役副社長 喜勢陽一様、株式会社ジェイアール東日本企画取締役会長 原口宰様、JR東日本メディア株式会社代表取締役社長 竹澤康行様、公益社団法人日本鉄道広告協会会長 新井良亮様をはじめ多数の来賓をお迎えして開催された。交歓会では、参加した東日本鉄道東京広告会に加盟する会員各社が懇親を深めるとともに相互交流が行われた。

東日本鉄道東京広告会が発足してから今年で20回目を迎える令和六年の新年を祝う「新年賀詞交歓会」が、1月11日㈭18時30分より東京都千代田区飯田橋のホテルメトロポリタンエドモント2階「悠久」において開催された。

今回の「新年賀詞交歓会」は、東日本旅客鉄道株式会社代表取締役副社長 喜勢陽一様、東日本旅客鉄道株式会社執行役員マーケティング本部副本部長 竹島博行様、株式会社ジェイアール東日本企画取締役会長 原口宰様、株式会社ジェイアール東日本企画取締役メディアソリューション本部長 星野雅央様、JR東日本メディア株式会社代表取締役社長 竹澤康行様、公益社団法人日本鉄道広告協会会長 新井良亮様をはじめ広告関係諸団体の方々等多数の来賓をお迎えして開催された。

令和六年の新年を祝う「新年賀詞交歓会」では、東日本鉄道東京広告会に加盟する会員各社が参加し、参加者間での懇親が深められるとともに会員各社の相互交流が行われた

会場では「新年賀詞交歓会」における壇上での挨拶に代わり、喜勢陽一東日本旅客鉄道株式会社代表取締役副社長、赤石良治東日本鉄道東京広告会会長の「新年のごあいさつ」が参加者全員に配布された。（挨拶文掲載）

乾杯の音頭をとる喜勢陽一 東日本旅客鉄道㈱ 代表取締役副社長

東日本旅客鉄道㈱代表取締役副社長 喜勢 陽一様 ごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は格別の御高配を賜り、誠にありがとうございました。日頃よりJR東日本ならびに弊社交通広告をご利用いただきまして、心から御礼申し上げます。また、コロナ禍の厳しい経営環境にあった三年余の間、弊社グループをお支えいただいたことに、重ねて御礼を申し上げます。

昨年五月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを節目に、世の中が急速に日常を取り戻してまいりました。弊社グループといたしましても、令和5年度は、年度初よりビジネスのモードチェンジを掲げて、ポストコロナに向けた新たなビジネス戦略の構築に努めているところであります。

皆さまにお世話になっている交通広告につきましても、秋葉原駅、上野駅、新宿駅において、大型のサイネージによる魅力的な映像と連動したさまざまなコンテンツが体験可能な、これまでにない「イマーシブなメディア空間」の創出を発表しましたが、今後とも先端技術の進展を取り入れた交通広告のイノベーションを推進して、皆さまのご期待にお応えしてまいる所存です。

また、神田駅においては、駅名標や発車メロディーなど駅を一体として企業

広告の媒体とする新たな取り組みを始めております。

本年も、皆さまとしっかり連携させていただき、駅空間や車両など弊社のアセットを十全に活用して、交通広告の新たな価値創造に取り組んでまいりますので、倍旧のご指導とご高配を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

東日本鉄道東京広告会会長 赤石 良治 ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

東日本鉄道東京広告会会員社の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当広告会の活動に格別のご高配を賜りましたこと、誠にありがとうございました。

昨年は、海外情勢不安や海外経済の回復ペース鈍化がありましたが日本経済は緩やかな回復基調となり、物価動向等不確実な要素はあるものの回復をつづけるものとみられております。当社媒体の販売においても、会員各社の皆様にご尽力いただいたことで4年振りに対前年を超える見込みとなっております。

交通媒体本部はメディアソリューション本部となり「Ｂｅｙｏｎｄ Ｓｔａｔｉｏｎｓ構想」「車内サイネージメディアの刷新」「ｊｅｋｉマーケットプレイス構築」の3本柱で交通メディアマーケティングイノベーションに取り組んでまいりました。既に一部展開を始めておりますが、本年はより具体的に大きく展開してまいります。

まず、「Ｂｅｙｏｎｄ Ｓｔａｔｉｏｎｓ構想」では、大規模なサイネージメディアを設置することでイマーシブなメディア空間を創出し駅の価値を増幅させる展開として、上野駅広小路口の大型Ｌ字型サイネージで３Ｄ映像の放映が可能な『上野広小路口ビジョン』を設置、4月には秋葉原駅中央改札外に大型ビジョンとショールーミング空間を併せ持った一体型メディア『ＡＫＩＢＡ“ＣＡＰ“』、新宿駅南改札内には3つのサイネージメディアで空間ジャックが可能な『新宿ＢＢＢ』が全面開業する予定です。

中締めをする赤石良治 東広会会長

2つ目の柱「車内サイネージメディアの刷新」は、乗客のアテンションを集め、メディアとしての価値を再構築するため、4月以降コンテンツ中心の編成へと大きく舵を切り、生活者起点の発想でメディアを刷新いたします。

3つ目の柱となる「ｊｅｋｉマーケットプレイス構築」では、ｊｅｋｉ独自のプラットフォーム『ＭＡＳＴＲＵＭ』での販売を開始しました。これによりデータに基づいて自動化されたオーディエンス測定や効果検証が可能となり、今後はインプレッションベースによるＯＯＨメディアのプランニングや広告枠の自動取引等、ＪＲ媒体はもとより国内ＯＯＨメディア市場全体の価値向上や高効率、高付加価値なメディアバイイングのオートメーション化を実現してまいります。

この3本柱を進めていくにあたっては、東広会会員各社様とのコミュニケーションをより深度化させた関係強化に努めてまいります。

皆様には本年も引き続きご支援ご協力のほどをお願い申し上げますとともに、会員各社様の益々のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2023年度第3回 広告関係10条教育講習会開催

広告関係の「鉄道に関する技術上の基準を定める省令（平成24年国土交通省令第69号改正）」10条に関する講習会第3回目（在来線）が、1月12日(金)に東日本旅客鉄道㈱マーケティング本部主催で日本鉄道施設協会講習室において実施された。

受講対象者は、広告関連会社の工事管理者等で、「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第10条（係員の教育及び訓練等）2項「鉄道事業者は列車等の運転に直接関係する作業を行う係員が作業を行うのに必要な適正、知識及び技能を保有していることを確かめた後でなければその作業を行わせてはならない」に基づき、講習会に参加することが義務付けられている。

2023年度第4回「事故防止会議（意匠）」を開催

広告意匠作業会社を対象に安全作業のための「事故防止会議（意匠）」の第4回目が、1月24日(水)に広告意匠作業会社・東日本旅客鉄道㈱・㈱ジェイアール東日本企画・ＪＲ東日本メディア㈱の関係者が出席してＷＥＢ会議で実施された。

「事故防止会議（意匠）」においては、事故事例（他山の石）・安全パトロールの実施結果等が報告され、参加者は安全に対する大切さを再認識し、安全意識の向上を目指して活発な意見交換が行われた。

J企「2023年度第3四半期売上」まとまる

J企交通媒体局の2023年度第3四半期売上は、69億14百万円、対前年108.4%となった。メディア別では、車両メディアは対前年108.8%で、駅メディアは対前年107.6%となった。2023年4月から12月累計では、182億05百万円となり、対前年106.3%となった。

＜2023年度　第3四半期　媒体別売上実績＞

（単位:百万円）

媒体		第3四半期				4月～12月累計			
		2023年度	2022年度	前年比	増減	2023年度	2022年度	前年比	増減
車両メディア	中づり	442	385	114.9%	57	1,066	993	107.3%	73
	まど上・ドア上	237	275	86.3%	-38	657	732	89.7%	-75
	ドア横新B	401	431	93.2%	-29	1,202	1,325	90.7%	-124
	ステッカー	315	262	120.2%	53	984	783	125.6%	201
	ADトレイン・車体広告	285	323	88.2%	-38	598	641	93.3%	-43
	新幹線・ローカル・他社線	47	32	147.1%	15	115	115	99.6%	-1
	車内デジタルサイネージ	1,416	1,183	119.7%	233	3,297	2,801	117.7%	496
	計	3,143	2,890	108.8%	253	7,919	7,392	107.1%	527
駅メディア	駅ポスター	372	327	113.9%	45	908	827	109.7%	81
	SPメディア	870	672	129.6%	199	2,100	1,677	125.2%	423
	サインボード	1,541	1,504	102.5%	37	4,544	4,607	98.6%	-63
	フリーペーパーラック店舗ラッピング	86	92	93.7%	-6	259	278	93.0%	-20
	駅デジタルサイネージ	870	881	98.7%	-11	2,438	2,315	105.3%	122
	計	3,739	3,476	107.6%	264	10,248	9,705	105.6%	543
メディア計		6,883	6,366	108.1%	517	18,167	17,097	106.3%	1,070
その他（工事　他）		31	13	237.4%	18	38	24	162.0%	15
総計		6,914	6,379	108.4%	535	18,205	17,120	106.3%	1,085

■車両メディア（第3四半期実績31億43百万円、対前年108.8%）

『中づり』『ステッカー』『車内デジタルサイネージ』は、大口出稿が増加したこと等により、前年度を上回った。

『まど上・ドア上』『ドア横新B』『ADトレイン・車体広告』は、大口出稿が減少したこと等により、前年度を下回った。

昨年度に引き続き一部の商品を除いた全ユニット横断商品「フリープランニング」の販売が実施された。

横須賀線・総武線快速にE235系新型車両が順次導入され、横須賀線・総武線快速で「トレインチャンネル」「まど上チャンネル」「サイドチャンネル」の放映が行われている。

■駅メディア（第3四半期実績37億39百万円、対前年107.6%）

『駅ポスター』は、「セット商品」「一般ポスター」ともに前年度を上回り、全体で前年度を上回った。

『SPメディア』は、「自動改札ステッカー」が前年度を下回ったものの、「イベント」「SPボード等」「集中貼り」が前年度を上回り、全体で前年度を上回った。

『サインボード』は、「予約販売」等の販売に努め、前年度を上回った。

『駅デジタルサイネージ』は、「大型デジタルサイネージ」は前年度を上回ったが、「J・ADビジョン」が前年度を下回り、全体で前年度を下回った。

2023年度「作業責任者安全講習会」を開催

2023年度下期の「作業責任者安全講習会」が2月14日(水)から3日間、㈱ジェイアール東日本企画本社大会議室で行われる。この安全講習会は、「作業責任者としての任務及び誘導員等の任務の習得」を目的とした安全への取組み、教育指導の周知を図るもので、駅構内で作業を行う広告会社関連の作業責任者だけでなく、駅構内での調査などを行う社員等も対象とした幅広い講習会となっている。

なお作業責任者として登録されている方も継続受講者として全員が受講する必要があり、もし受講されない場合は「作業責任者登録証」が失効となってしまいますのでご注意ください。

※詳細はJR東日本メディア㈱
設備管理部　安全指導課
（電話番号）03-5391-1246

会員名簿変更

・住所・連絡先変更

㈱ウォータックインターナショナル
（12月25日付）
〒169-0075
東京都新宿区高田馬場1-29-7
スカイパレスビル803
電　話　03-6380-3031
FAX　03-6380-3657

J企の主な人事異動（交通媒体局関係）

（1月1日付）

五明　泉氏
取締役企画制作本部長
兼 交通媒体局担当局長
（TRAIN TV事業部担当）
（取締役企画制作本部長）

佐藤　雄太氏
交通媒体局TRAIN TV事業部長
（交通媒体局メディアソリューション
セールス部担当部長）